

◎基本的な感染対策「手洗い」を徹底しましょう!

■感染性胃腸炎に注意しましょう

細菌又はウイルスなどの感染性病原体による嘔吐・下痢を主症状とする感染症です。原因はウイルス感染（ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルス）等が多く、その他細菌性のものもあります。嘔吐・下痢以外に、脱水症状、電解質喪失症状、全身症状等があります。嘔吐又は下痢のみの場合や、嘔吐の後に下痢が見られる場合と様々で、37～38℃の発熱がみられることもあります。  
集団発生を防ぐためにも、流水・石けんによる手洗いを習慣づけましょう。

■A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に注意しましょう

発熱、咽頭痛、倦怠感、嘔吐を主症状とする細菌性の感染症です。  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎にかかった人の咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します。また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します。  
手洗い・うがい・マスクの着用等を徹底しましょう。

■手足口病に注意しましょう

手足口病は、口の中や手足等に水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行します。約1/3の人に発熱がみられますが、通常は数日で治まります。  
感染経路は接触感染、飛沫感染、経口感染で、潜伏期間は3～6日です。特に排便後、調理や食事の前には石鹸と流水で手をよく洗い感染を予防しましょう。タオルの共用は避けてください。保育所などで便を処理するときは使い捨て手袋、

～ 6月1日～7日は「HIV(エイズ)検査普及週間」～

★無料・匿名「HIV(エイズ)夜間検査」のお知らせ

【検査日】令和6年6月4日(火曜日) 17時～19時

【検査場所】中部保健所 1階

\*検査は完全予約制です。必ず事前予約をしてください。

\*検査結果は、採血後40分程度で分かります。

【問合せ先】大分県中部保健所 0972-62-9171

《定点報告》

令和6年第19週(5月6日～5月12日)

	インフルエンザ			C O V I D 1 9	R S ウイルス	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹(はしか)	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎
	A型	B型	不明														
0歳								0.3		0.7		0.3					
1～3歳								0.7	0.7	2.7							
4～6歳								0.3	0.7	1.0							
7～9歳	0.3							2.0	1.7								
10～14歳	0.3	0.5		0.3				0.7	0.3								
15～19歳	0.3	0.3		0.3				0.7									
20歳以上				0.3													
今週	0.8	0.8		0.8				4.3	3.7	4.3		0.3					
	1.5																
70歳以上(再掲)				0.3													
前週			1.3	0.8		0.3	1.7	2.7		7.0		0.3		0.3			

※感染症発生動向調査について

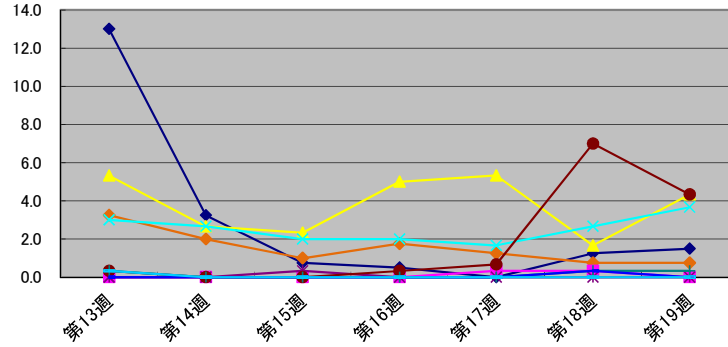
感染症については、医師からの報告により全数を把握していますが、インフルエンザなど特定の疾病については、指定された医療機関(定点)からの報告で発生状況を把握しています。

ここにあげた数値は、1定点あたりの平均の患者数となります。(定点医療機関数 インフルエンザ4、小児科3)

### 過去7週間の発生動向

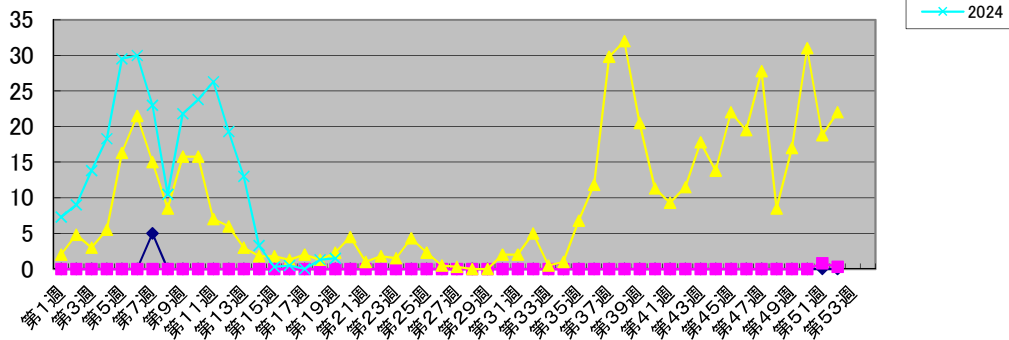
- ◆ インフルエンザ
- ◇ COVID-19
- 咽頭結膜熱
- ▲ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- ✕ 感染性胃腸炎
- ✱ 水痘
- 手足口病
- ✦ 突発性発疹
- ◆ ヘルパンギーナ
- ✧ 流行性耳下腺炎

定点あたり



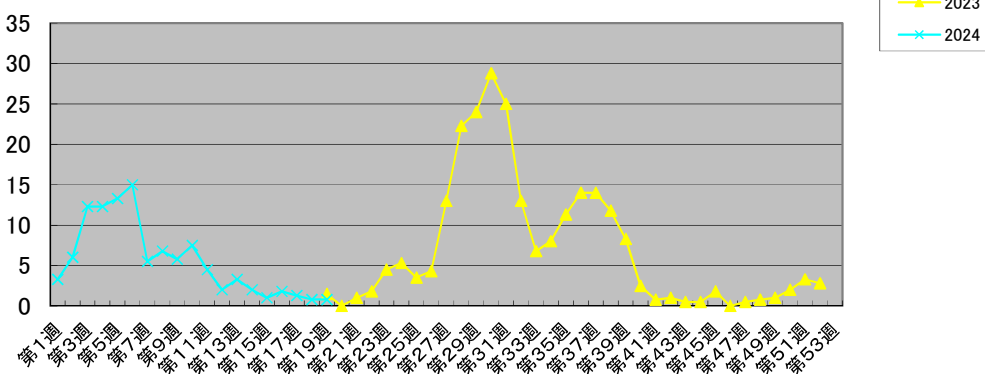
### インフルエンザ

定点あたり



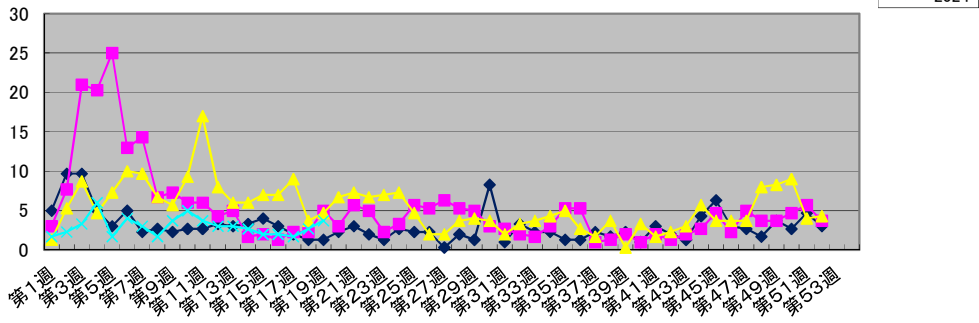
### COVID-19

定点あたり



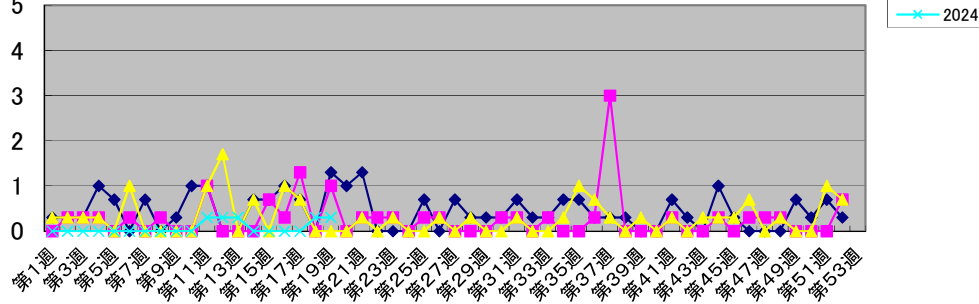
### 感染性胃腸炎

定点あたり



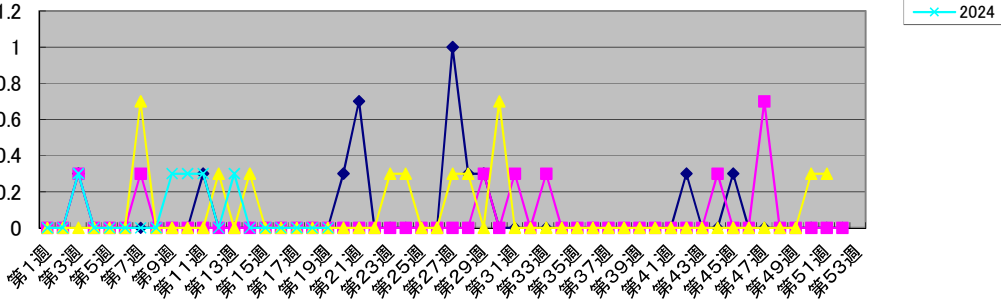
### 突発性発疹

定点あたり

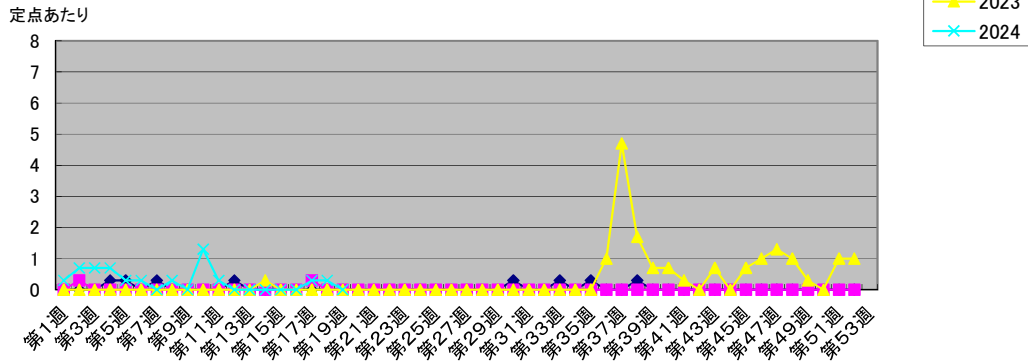


### 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

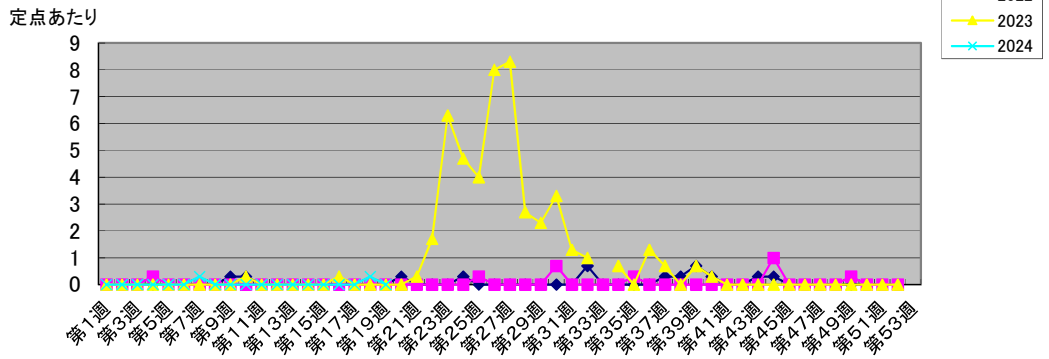
定点あたり



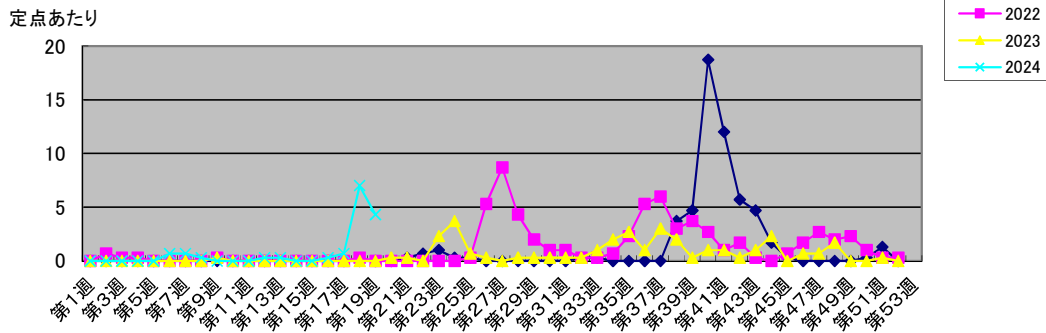
### 咽頭結膜熱(フェール熱)

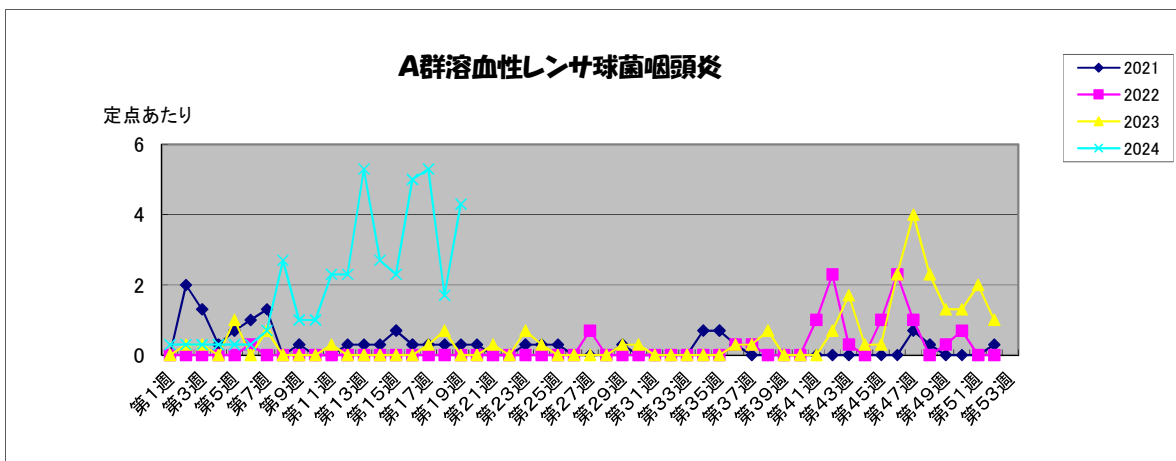
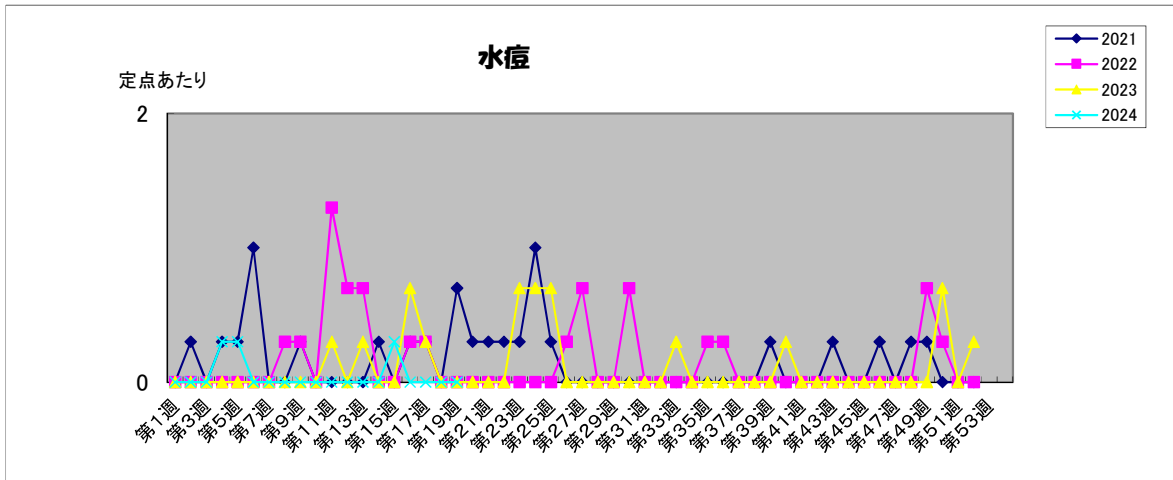


### ヘルパンギーナ



### 手足口病





掲載内容について、不明な点がある場合は、下記へお問い合わせください  
 中部保健所  
 Eメール a12083@pref.oita.lg.jp  
 電話 0972-62-9171  
 FAX 0972-62-9173

## ◆◆◆ 由布保健部（由布市）感染症情報：第19週（5/6～5/12）

●手足口病が流行しています！県内の発生数は警報レベルです。

口の中、手足などに水疱性の発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、通常は高熱が続くことはありません。

子どもを中心に、主に夏に流行がみられます。感染経路は、飛沫感染、接触感染、経口感染です。

感染対策の中でも、特に、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することを心がけましょう。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が県内、由布市内ともに増加しています。

発熱・倦怠感・喉の痛み・嘔吐が主症状で、舌にイチゴのようなブツブツ（イチゴ舌）ができることもあります。子どもに多く見られる感染症で、例年は「春から初夏」「冬」の2つの報告数のピークが認められています。

菌が手などを介し、口に入ることによって感染します（経口感染）。

●新型コロナウイルス、感染性胃腸炎が増加しています。

引き続き、うがいやこまめな手洗い等の基本的な感染対策を心がけてください。

また、少しでも体調に異変を感じたら、躊躇せず休みましょう。



### ◆由布市の傾向

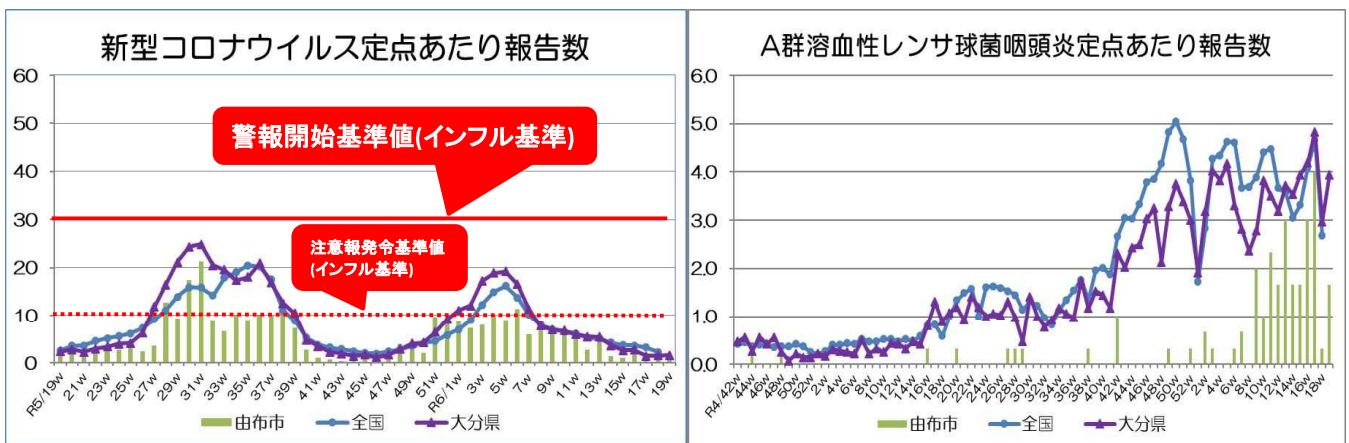
		小学校未満	小学生	中学生	成人（含高校生）	高齢者
インフルエンザ	A型	0	1	1	1	0
	B型	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス		1	0	0	4	1
感染性胃腸炎		2	0	0	0	0
水痘		0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎		0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0	3	1	1	0
マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0

※数値は、由布市内の独自定点3ヶ所の報告数。

### ◆県内の傾向

	インフルエンザ	新型コロナウイルス	感染性胃腸炎	水痘	流行性耳下腺炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
由布市	1.00 ↓ ( 1.33 )	2.00 ↑ ( 1.00 )	0.67 ↑ ( 0.00 )	0.00 = ( 0.00 )	0.00 = ( 0.00 )	1.67 ↑ ( 0.33 )
大分県	0.38 ↓ ( 0.79 )	1.62 ↑ ( 1.52 )	8.19 ↑ ( 6.22 )	0.19 ↑ ( 0.11 )	0.11 ↑ ( 0.03 )	3.94 ↑ ( 2.97 )
東部保健所管内	0.33 ↑ ( 0.17 )	1.67 ↑ ( 1.42 )	9.57 ↑ ( 8.14 )	0.00 = ( 0.00 )	0.14 ↑ ( 0.00 )	5.86 ↑ ( 4.57 )
大分市保健所管内	0.29 ↓ ( 0.94 )	1.35 ↓ ( 1.41 )	14.00 ↑ ( 8.91 )	0.45 ↑ ( 0.00 )	0.18 ↑ ( 0.09 )	3.64 ↓ ( 4.18 )

※数値は、一定点あたりの報告数。（ ）は、先週報告分。



【お問い合わせ】大分県中部保健所 由布保健部 ☎ 097-582-0660